



東青地域県民局地域農林水産部
■ 農業普及振興室 ■

〒030-0801 青森市新町二丁目4番30号
TEL 017-734-9966 FAX 017-734-8305
E-mail hi-nosui@pref.aomori.lg.jp

祝！東北新幹線全線開業 盛り上げイベントで「攻めの農業」を情報発信



お客さんと賑わう「東青地域おもてなし産直市」

東北新幹線が平成22年12月4日、ついに全線開業し、東京と新青森間が最短3時間20分で結ばれました。これにより航空路線、高速道路と合わせて高速道路ネットワークはさらに充実し、交流人口の増大による産業・観光振興など多くの分野で大きな効果が期待できる環境となりました。

新幹線開業という千載一遇の好機を生かし、みんなで一致団結し、「また訪れたい」と思ってもらえるようなおもてなしの心と笑顔で開業を迎えようと、多くの盛り上げイベントが開催されました。

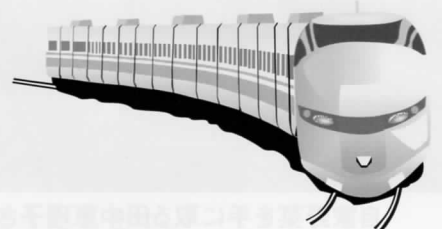
開業当日、青森駅前では「東青地域おもてなし産直市」が開催されました。東青地域県民局が主催し、東青農水産物加工協議会のメンバーなど管内の農業者・加工業者が、地域の農林水産物やそれらを利活用した加工品等の展示・販

売を通じて、県内外から訪れる観光客に食の魅力や物産等をアピールし、青森ブランドを全国に情報発信しました。

盛り上げイベントは開業以降も続き、地元そばの消費拡大を図るため「あおり海道そばまつり」が12月17日から19日までアスパムで開催されました。あおり海道そばブランド推進協議会などが主催し、大勢のお客さんと賑わいました。

平成23年1月22日、23日には、「第16回元気なかつちゃの味自慢・うで自慢」を関係機関・団体と連携のもと開催しますが、地域で生産された農水産物や加工品の試食会・即売会で青森県の魅力をアピールしていくこととしています。

今後、開業効果の最大限の獲得に向けて農業普及振興室では、重点事業に掲げる①上小国ファームを核とした集落営農組織の企業化推進、②農商工連携による「あおり海道そば」のブランド化推進、③カシス安定生産の確立と生産・集荷体制の整備、④農商工の協働による農村起業の活性化の取り組みを通じて、生産から加工・販売まで一体的に取り組む「農業の6次産業化」を全国に情報発信して参ります。



集落営農組織を核とした地域営農企業化の取り組み ～ 農事組合法人 上小国ファーム ～

外ヶ浜町蟹田地区の農事組合法人上小国ファームでは、収益性アップを目指した「地域営農企業化戦略プラン」を策定し、これまでアピオス、にんにく、夏秋いちごなどの高収益作目の作付拡大を図ったほか、微粒粉に対応できる製粉施設を本年度導入し、米粉加工も始めることとしています。



CSR（企業の社会貢献活動）を受け入れてのにんにく収穫

同ファームで製粉された外ヶ浜町産米粉は、外ヶ浜町農業・農村活性化協議会が米粉パンや

スイーツなどに加工し、学校給食や地元のスーパー・コンビニ等に供給しています。また、同協議会では、昨年11月から地元食材を使った弁当の製造・販売も行っています。



米粉加工品のイベント販売

生産から加工・販売まで一体的に取り組む「農業の6次産業化」はまだスタートしたばかりですが、この取り組みが地域農業の更なるステップアップにつながるものと期待されます。

新規就農者の紹介 ～ 田中恵理子さん（平内町）～

県では新規就農者の取組内容に最も適した農業経営者を「新規就農トレーナー」として選定し、就農後のサポートを行う「新規就農トレーナー設置事業」を実施しています。平内町の田中恵理子さんは、昨年4月に就農しこの事業を活用して農業をスタートさせました。



自家野菜を手取る田中恵理子さん

田中さんは日本農業実践学園で学んだ経験を生かし、トレーナーとなった平内町の倉本幸雄さん夫妻から栽培技術の指導を受け、トマトやピーマンなどの野菜を栽培しました。

「初めての農業はどうでしたか」との質問に、「トマトは学んできたことと違って薬剤散布のタイミングが難しかった。力仕事は大変だった」と答えてくれました。また県の事業を活用したことについても「役に立った。多くの方に事業を活用して欲しい。倉本さん夫妻にも感謝の気持ちでいっぱいです」と答えてくれました。

最後に将来の目標について、「施設野菜の規模を拡大し、自家野菜を対面販売したい。また、消費者の方に農業のことを理解してもらおうよう頑張りたい」と力強く語ってくれました。

平成22年産水稻の作柄・品質の概況と今後の対策

平成22年は猛暑で夜間も温度が下がらない日が多かったことにより、イネの生育障害が起こるなど収量・品質に影響がありました。

<生育観測田における収量の傾向>

「つがるロマン」は、穂数と籾数の減少が影響し、平均で約10%の減収となりました。「まっしぐら」は、穂数と籾数は少なめであったものの、登熟歩合と千粒重が平年を上回り、ほぼ平年並みとなりました。

<品質の概況>

青森農協で検査を受けたコメの11月末の一等米比率は「つがるロマン」が約79%、「まっしぐら」が約96%、両品種込みで約88%でした。

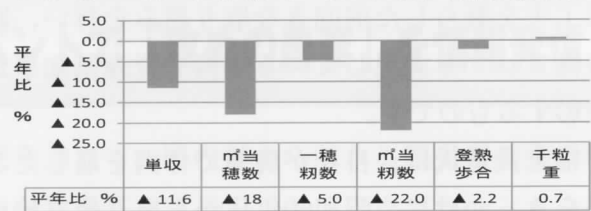
特に「つがるロマン」は粒ぞろいが悪かったりする「充実度不足」や、カメムシによる吸汁で米粒に黒い斑点が付く「カメムシ類による着色粒」さらに高温でコメ粒が割れて雑菌が繁殖

し、黒く変色するクサビ米など「その他着色粒」が発生したため、一等米比率が下がりました。



クサビ米

つがるロマン(2カ所平均)の収量構成要素



<今後の対策>

適正籾数の確保は、低温・高温対策のみならず良質米生産の基本技術です。品種の特性に応じた地帯別・土壌型別の施肥基準を守るとともに、低温や高温に対応して稲体の活力を維持するために、有機物や土づくり肥料の供給による地力の維持・増進を図りましょう。

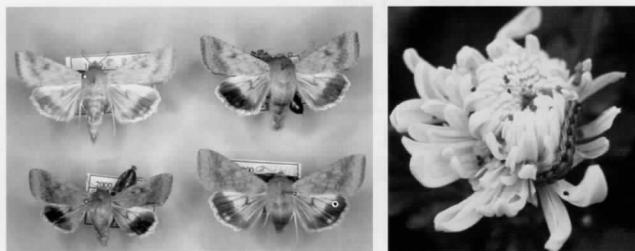
野菜・花の重要害虫「オオタバコガ」の生態・被害と今後の対策

オオタバコガの発生が平成22年、管内で多く見られました。県病虫害防除所がおいらせ町に設置したフェロモントラップには、過去6年間で最も多かった平成16年の約3倍に当たる450頭の雄成虫が誘殺されました。本年は6月から8月にかけて高温の日が続き害虫の発育が早まったため、発生が多かったと考えられます。

飛来成虫が少数ながら認められ、8月後半から9月にかけて多くなります。

<被害>

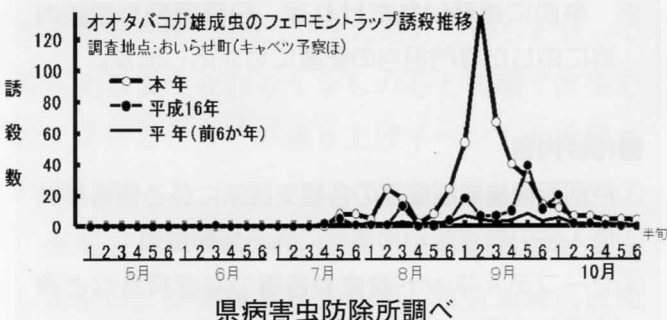
幼虫は頂部を食害するため「心止まり」するほか、蕾や花を加害し品質低下や減収を招きます。



オオタバコガの成虫(左)、キクを加害するオオタバコガの幼虫(右) ※ 写真は県病虫害防除所提供

<今後の対策>

中齢以降の幼虫が作物体に潜り込むため、ふ化幼虫期の防除、さらに防虫ネットをハウスの入り口やサイドに設置し、成虫がハウス内に侵入しないようにします。



<生態>

寄主植物はナス科作物など、60種以上記録されています。本県では7月に入ると県外からの

祝！「攻めの農林水産業」意欲溢れる事列表彰で最優秀賞に輝く (青森市浪岡 福士武造 氏)

青森市浪岡の福士武造氏が、平成22年度の意欲溢れる攻めの農林水産業表彰で栄えある最優秀賞を受賞しました。

この賞は、「攻め」の姿勢で新たな試みや、創意工夫を凝らした前向きな取り組みを行い、収益性アップを実現している事例を青森県知事が表彰するものです。

福士武造氏は、自身が農薬で体調を崩したことをきっかけに、昭和60年代から取り組み始めた米の有機栽培と、省力・低コストと高収量を実現できる独自の「地下かんがい法」の開発、独自ブランドによる販路の確立など創意工夫を凝らした生産手法や販路開拓により、大幅な収益向上を実現した点を高く評価されました。

また、特別栽培の大豆は地元の道の駅アップルヒルに店舗を出す「なみおか豆や」と契約栽培し、地産地消の面でも地域に貢献しています。

さらに自ら地元の小学校に働きかけ、自身のほ場に児童を招き大豆栽培を通じた食育活動も意欲的に実施しています。

今後、後継者とともにより一層幅広い、奥深い農業経営の実現に向けた取り組みが期待されるということです。



「攻めの農林水産業」推進大会で発表する福士氏

お知らせ

自慢の味で地産地消を！

★「第16回元気なかつちゃの
味自慢・うで自慢」を開催します★

■と き 平成23年1月22日(土)、23日(日)
10時～15時

■ところ アスパム1階イベントホールほか

■内容

・東青農水産物加工協議会の加工品等の即売会「かつちゃの味店」

・かつちゃ達の自慢のうでを披露する「実演料理試食会」

・青森市特産のカシス(黒房スグリ)PRコーナー(カシス加工品の試食もあります！)

※ 東青の味プレゼントとして、「先着100名様プレゼント」や14時から「決めてくんとジャンケン勝者にプレゼント」も行います。

※ 販売商品や試食品、プレゼント等には数に限りがありますので、お早めにご来場ください。



★農業経営相談室を開設しています★

米の概算金引き下げに伴う資金繰り対策や戸別所得補償制度の情報提供、経営の複合化など幅広い相談に対応しています。

■と き 毎週水曜日 午後1時～5時

■ところ 農業普及振興室(県庁北棟4階)

※ 事前に連絡いただければ、日程調整や相談内容に応じた専門担当の配置にも対応します。

■相談内容

- ① 戸別所得補償制度等の各種支援策に係る情報提供
- ② 借入金の償還緩和措置等に係る情報提供
- ③ セーフティネット資金や各種つなぎ資金など資金繰りに活用できる低利資金の紹介
- ④ 高収益作物や加工・直売部門の導入による経営の複合化等の支援など

— ★台風等の災害に備えて果樹共済に加入しましょう！ —